在露國日本大使館

雪西日報 右ニ二年三月分
(和仮前号ノ通)

在露國日本大使館

*188136

PL

別紙ノ通電報致シ置キ候

先般ご送付致シ置キ候
ウラジオストク電報ニ基キ
ご参考ニ供シ度キ
旨ご通知ニ預リ
度キ

敬具

大正二年十月十日 在露
特命全権大使 [illegible]

外務大臣 [illegible] 殿

大正二年八月 正日 [illegible]

REEL No. 1-1155

0233

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

駐英大使日記抜粋

(後藤公爵ニ送付)
昭和二年一月二十日 佐分利

一

西曆四月報 大正二年三月分

同次

第一 經濟

一、鐵道

○西伯利亞鐵道ノ重要鐵道○南印陸路ノ要○黑鐵工事
西伯利亞鐵道陸路ノ連絡
○鐵軌車輪ノ研究○南印西伯利
鐵道布設ノ調査○合上陸路ノ連絡
○合上○
○合上秀麗ノ調査○合上○
○南印西伯利鐵道
古鐵道計畫○
「ロイヤル」鐵道布設ノ資金○
○東北鳥拉爾鐵道○烏蘇里線
○東北鳥拉爾鐵道○南印
地方工事○恰克圖鐵道○南印

駐英大使日記抜粋

REEL No. 1-1155

0234

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

西伯利鉄道ノ終点ノ○附図

二、航業

○一九一二年露西亜伯利亜ノ輸送状況○「コルイ」河航路○水路法令案

通過○露亜海運航業○露支間ノ民船

航業奨励策○露支間ノ民船

金社ノ特権○極東港湾倶楽部

○露支間ノ民船金社ノ活動

三、農業、漁業ノ状況

○中亜灌漑事業○全上ノ結果 一九 年

四、移民及労働問題

○移民ノ強制的退去○移民ノ移

住状況○極東方面ノ露人○全上

○一九一三年度ノ移民○軍隊及傷病者

○黄人方面ノ輸送及捕虜送還

五、

○西伯利亜ノ鉄道所属○軍隊

以外ノ輸送○俘虜ノ輸

出入ノ状況○改正露墨協定ノ

通過状況○中亜貿易

○露米貿易ノ状況○支那及亜細亜

○支那国境ノ無税輸入○捕

虜送還状況○極東経済会議

移民問題○極東自由港

○自由港ノ改正案○在

REEL No. 1-1155
0235
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

在倫敦帝国大使館

六、軍事

○海軍力拡張

○海軍力ハ十ヶ年ニ拡張セラルヘキ筈ニ付テハ本年度ニ於テ○千五百万円

七、交通

○特ニ国有鉄道ニ関シ○新線

道路及物資ノ運輸

三三

三三

第二

交通、司法及行政

○在外公館ノ新設拡張及新設法案

○現在露西亞ハ鉄道等ニ関スル法案

案○在倫敦露西亞領事館ノ拡張

○現在ハ西伯利亞鉄道ノ建設

役員ノ係○既成地方ノ行政改革

三三

第三 政治及社會

○ロマノフ家祝典献金○ロシヤ家

殺害及ボルシェヴィキ○在露西亞

五年間第○海軍拡張

第長官等○六百万露西亞○

在倫敦露西亞領事館○武官

ノ高等事務及○在倫敦露西亞

領事館

第四 外交

○英露ノ対波斯外交○露西亞

ノ勢力解散○亜細亞問題

○黒龍江及那般尼ノ教

三八

第五 軍事及海軍

REEL No. 1-1155

0236

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

露國日報 大正二年三月分

第一 經濟

一、鐵道

○西伯利鐵道第一重要鐵道（三月十五日報）

大藏大臣及交通大臣ハ西伯利鐵道「メメーンスカヤ」驛ヨリ「ハルビンスカヤ」驛原ナル「ゴロドー」村ニ至ル鐵道ノ布設及賃貸ノ目的ヲ以テ會社組織ノ為ニ外書類ノ用意ヲ提出セリ後提案ニ接シ合鐵道ハ國家的ノ經濟的意味ニ於テ最モ重要ナルモノニシテ即チ日鐵道布設ノ暗ニ之ニ由リ僅ニ一千八百万布ノ穀物ノ貨物ニ收レ軍ニ之ノ二ヲ一ヶ年ニ為ニ於ニ二万哥ノ牧畜ノ增加ヲ見ルニ至ルヘシト云フ元來「ハルンゲンスカヤ」驛原

露國日本人傳說

○露領哈爾賓報後內話

八一九〇五年ノ日露ニ於テ講和ノ成リシト雖モ人ノ寄野
ナリシニ軍来長足ノ發達ヲ遂ケ現時ニ於テハ人口
七拾万ヲ算シ其中四年前記スルゴールド村ノ如キ
一ヶ年ノ高取川高二百万留ニ達スルニ至リ左ニ大
藏大臣及交通大臣ニ此種重要ナル鉄道経営ハ
如何ニ生ル事ヲ全鉄道ノ布設経営ニ關シ各種ノ
特典ヲ供与シ且ツ其資本金ニ対シ保障ヲ与フル
ヲ以テトシ

○南部西伯利亜鉄道條例案（三月十四日官報）

新設鐵道事業ニ關シ三日十三日各種団体ヲノ請願ニ係ル南部西伯利亜鉄道布設計畫案ノ審査ニ着手ヲ全鉄道ニ西伯利亜鉄道ヲ南部ニ布設セルヲ以テ主眼ニ施設事業ノ

事業ト鐵業ノ南部ニ於テハ陸軍ニ一九一一年歳計豫算案ニ審査ニ際シ政府及議會ニ於テハ之カ布設ノ必要ヲ唱道シタル所ナリト今鉄道建設案ト其結果ニ付記載スルト次ノ如シ

一、イルクツクスキー、ブリヤンスク、男、ゴドヤ伯等出

鉄線＝ウラリスク、オムスク、オムンスク、

アトバーサル、アクモーリンスク、セミパラチンスク

（甲線）

ウラリスク、イレツク、アルトムーク、セミパラチンスク

（乙線）

二、ナイデノフ、ブロチキエ、ユゴーカチ等出

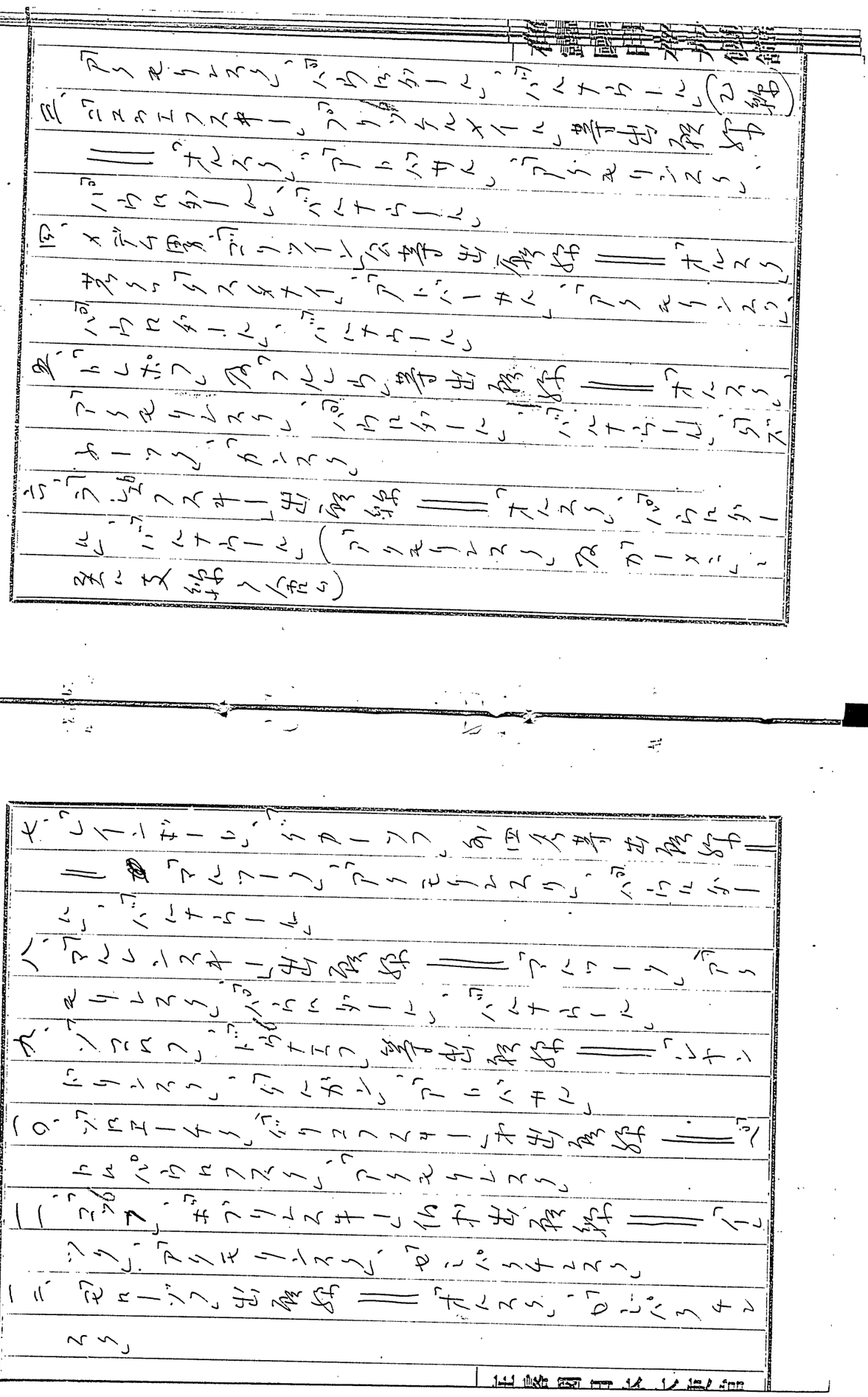
鉄線＝ウラリスク、オムスク、アトバサル、

アクモリンスク、セミパラチンスク（甲線）

REEL No. 1-1155
0238
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

REEL No. 1-1155



一三、アルプ「レンガ」ヲ出来ル

ポトロパラロフスク「ウラル」ヲ経テ、アイエリン

○黒鉄工事（三月廿八日官報）○

黒竜江道路事務所ノ記事ニ依レハ黒竜

鉄道工事ハ着シク進捗シ二月八日工事部長

主舎ノ以ウラール駅ニ於テ中部西伯利亜

道ノ軌條連結ノアリシヨリ是ニ今鉄道ハ未線及

支線ヲ合シ少延長六百五哩ノ南通ヲ見ルモ

料ノ運搬ノ大ニ便ナリ尚本西部線ニ於ケル軌

条ノ布設並ニ橋梁ノ建築ハ大ニ進捗シ居リ

何ニ架セラレタル四橋中二ハ既ニ竣工シ又オリドイ

何ノ大橋ハ設工シ其他ノ小架橋工事モ所次進捗シ

ツアリシカ本春初ニ於テ「ウラール」ヲ「ウラール」ヲ西

部金線迄ノ通シ列車ノ運輸スルコトトナレリ

○鐵道軌事輸新併費（三月廿九日官報）○

交通省ハ一九一四年度ニ於ケル鉄道及

軌事輸送ニ要スル費金三九、九四、四〇〇円支出ノ

件ヲ閣議ニ提出シタリ

○南部西伯利鉄道布設問題（高工新聞三月十三）

本日南部西伯利鉄道新設調査委員会

ハ南部西伯利鉄道布設問題ニ就キ審議スル

所アリ（露亜細亜帝国中異ル地方ノ現在西伯利鉄道ノ南方ニシテ西伯利

西端ヲ東方ニ連ル一百五十哩ノ平原ナリトス）

在露邦人関係雑件

REEL No. 1-1155

0240

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

全鉄道トノ距離甚タ遠ク且ツ現時ニテハ通ノ
便ノミナラズ経費ノ如キハ僅ニ狀態ニ在
リ左レハ政府ノ従来此地方ニ於テ殖民事業ノ
奬励ノ為メニ打ッテ其成績甚タ遅々トシテ振ハ
ス一平方露里ニ付一平均三人九ノ人口ヲ有スルニ過
キサルカ如キ移民廳ノ開墾ニ係ル道路ハ殖民上
切実ナルニアラサルヲ言ハス且ツ地方的交通上ノ意味
ニ於テモ亦タ甚タ重キヲシテ今地方ノ経済的要求ノ満足
セシメンニハ鉄道若クハ水路ノ如キ中ノ何レカ成鉄道
幹線ニ連絡シ以テ中央市場ニ其生産品ノ販
路ノ開クヲ必要トナス
南部西伯利鉄道ノ布設ハ富ニ殖民上ノ重大
ナル意味ヲ有スルニ止マラス石炭食塩其他各種

鑛物ニ豊富ナル地方ノ産出ヲ全ウシ以テ地方
殖産ノ勃興ヲ促スト共ニ目下燃料及鑛礦ノ
欠乏ヲ感スル政露工業界ニ有力ナル援助ヲ与フル
ニアラサルヲ
右ノ事情ニ依リ政府ハ従来第九会鉄道布設
ノ必要ニ就キ注意ヲ払ヒツツアリシカ一九一一年ノ
保護ノ移民ニ関スル勅令ノ審議ニ当リ全鉄道
布設ノ急速実行ノ必要ヲ認メタルヲ以テ交通省
ハ費務省ハ保護ノ上一九一三年初露細亜露
帝国鉄道布設ニ関スル一般的計畫ニ就キ調査
スルノ目的ノ下ニ特別委員ヲ組織シ多年
全国保護ノ殖民上又ハ一般経済上其利益ノ相
一致スル鉄道建設ノ目的ヲ以テ南方西伯利鉄道

REEL No. 1-1155
0241
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

幹線布設ノ計畫ノミニ留マリ今鐵道ヲ「キンギーロ」
鑛原及亜爾泰原野ノ横断シ西伯利鐵道ト
連絡スベキ支線ニ至ル迄ニ亜行ニ西鐵道ノ中間ニ
地方的交通上数多ノ支線ヲ通シ以テ相互ニ連
絡ノ保タシムルノ計畫ニ也今右線ニ支線ヲ記
スレバ左記ノ如シ

一、「メタールスク」、「スラヴゴーロド」支線
二、「ミヌシンスク」、「アチンスク」支線
三、「トムスク」、「スパスキー」、「ガウヴァード」支線
四、「ウラル」、「ニコラエフスク」、「バルナウール」、「ビースク」、「セレバ
ケンスク」支線

右ノ外「ドイツク」、「クスタナイ」間線路ノ延長シテ
「トバサルスキー」郡ニ於テ南部西伯利幹線連

結スルノ必要ト信ズルモノ而シテ以上列記支線中
目下既ニ布設工事ニ着手シタルモノアリ
南部西伯利鐵道幹線ノ布設ハ政府ガ主義
上採用シタルモノナルガ交通者ガ経済的見地ヲ採
査シタル所ニ拠レバ右設計ノ線路ハ「オレン
ブルグ」縣「オルスク」市ヲ起点トシテ「クスタナイ」及
「トムスキ」両郡ノ南部ノ通過シ其ヨリ「アク
モリンスク」州「ペトロパウロフスク」郡ノ南部及
北部「アトバサール」郡ノ経テ七百二十九露里ニシテ
「アトバサール」市ニ達シ更ニ「アトバサル」及「アクモリ
ンスク」両郡ノ中部ノ横キリ「アクモリンスク」
市ニ到ル此全延長九百二十三露里ニシテ
布一線ヲ（金線五支）敷ク二線ヲ「アクモリンス

REEL No. 1-1155
0242
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

ノ「市」ニ始マリセミパラチンスク」例ニ入リ「パウロダル」即チ「横キリ「パウロダール」」市ニ終ル本線ノ延長千三百七十五露里トス本支線ノ「パウロダール」「ペトロパブロフスク」間ノ「シベリヤ」前ノ多線ノ通計千八百二十八露里トス本線ノ「パウロダール」市ヨリ起リ「オムスク」市ニ達スル全延長二千百三十四露里ナリ本線ノ「エニセイ」線ニ達シ「ミヌシンスク」即チ鉱業ノ盛ナル「ミヌシンスク」市ニ到リ茲ニ西伯利鉄道本線ニ接続ス即チ全線ノ通計ハ三千二拾八露里トス

南方交通者ノ開発ニ対シ本線ノ支線ヲ此線路ノ「アクモリンスク」市ヨリ更ニ南方ニ向ヒセミパラチンスクニ至ルモノニシテ「オムスク」ニ全地間ノ距離千二百拾露里トス

南部西伯利鉄道幹線ハ曠野地方、西部及東部西伯利ノ拾六郡（其全面積六万三千二拾三万二千二百平方露里）ヲ通過シ又「オムスク」「セミパラチンスク」線ハ由ニ曠野地方ノ拾三郡（其面積四拾九万七千二百六十六露里）ヲ通過スル而シテ本一線全線通過地方ノ人口ハ二百四十五万三千人本二線全線全人口ハ六拾六万二千人即チ一平方露里ノ人口ハ三・九名ナリ二・八又本一線全線通過地方耕種地面積ハ百二十四万五千畝本二線全六拾一万七千畝ナリ

貿易其他ノ状況如何ヲ見ルニ交通者ノ経済開発ニ対シ本一線ハ如何ニ「オムスク」ガンスクノ間ニ於ケル一億千四百四万布度本二線ハ即チ「オムスク」「セミパラチンスク」間四千九百九十五万布度

REEL No. 1-1155
0243
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

第一條之條書ニ掲ケタル貨物ノ主要ナルモノ

貨物	價格
穀物	三、二七〇、〇〇〇
製粉	五、三五〇、〇〇〇
石炭	四、五〇〇、〇〇〇
木材	三、五〇〇、〇〇〇
肉	一、八〇〇、〇〇〇
生牛	一、七一〇、〇〇〇
皮革	一、九八〇、〇〇〇
牛酪	一、一〇〇、〇〇〇
計	六〇、六〇六、〇〇〇

第二條之條書ニ掲ケタル貨物

貨物	價格
穀物	一九、九〇〇、〇〇〇
皮革	一、八〇〇、〇〇〇
製粉	一、四〇〇、〇〇〇
肉	一、二九五、〇〇〇
家畜	一、二、九〇〇、〇〇〇
計	三〇、二三五、〇〇〇

第一條之條書ニ掲ケタル貨物

貨物	價格
農具	二、〇四六、〇〇〇
鐵材及鐵製品	一、八八七、〇〇〇
砂糖	一、三三一、〇〇〇
石油	一、二三八、〇〇〇
計	一三、一二一、〇〇〇

第二條之條書ニ掲ケタル貨物ノ總數量二万五千七百三十七布度ヨリ少キ

REEL No. 1-1155

0244

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

市鉄道ハ延長路ハ長大ナルニ比シ輸送上ニ重要ナル貨物ノ輸送量四千三十一万四千噸ニシテ命令ナリ

又鉄道ノ總收入ハ貨物輸送ヲ一千三百四十一万三千百六十万四千百雜收入九十一万四千百總計一千七百九十二万一千百ニシテ旅客輸送ヲ三百一万三千百雜收入ハ五千九百三十二百收入スル制令ナリ又本ニ線路ハ貨物輸送ヲ二百五十五万二千百旅客輸送ヲ百九十四万二千百雜收入四十八万八千百總計八百九十八万二千百員ニ一百員ニ付五百ル十五万四千百ノ收入ヲ制令ナリ

（編者註）尚ホ個人企業ノ法願ニ係ル南部

西伯利鉄道設計書ハ本項新設鉄道ヲ含ミ於ノ實費ニタルカ故ニ本月報第四項三月十四日官報紀事南部西伯利鉄道線路定令ハ全樣ノモノナレハ本邦定線ハ附図参照ノコト

○今上鉄道線路ニ建設費（三月十五日高工部報）

第一線定線路

オムスク――アトバサル――アクモリンスク――パウロダール――バルナウール――クズネツク――カンスク

第二線定線

オムスク――アトバサル――アクモリンスク――パウロダール――バルナウール……一三七、六七九、〇〇〇留

REEL No. 1-1155
0245
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

第三階定額

「オンスラ」――「アトバサル」――「アクモリンスク」――四〇
「パラチンスク」……一一二、八三六、〇〇〇圓

第四階定額

「ペトロパウロフスク」――「スパスキー、ガラヴィー」……
……四六、九八一、〇〇〇圓

又交通者ノ調査ニ起ル所ノ左記ノ如シ

第一線「オンスラ」「カンスラ」間
一露里ニ付總收入　六、五四九圓
金線ニ對スル保証金　二、三五一、〇〇〇

第二線「オンスラ」「バルナウール」間
一露里ニ付總收入　七、九一二

第三線「オンスラ」「セミパラチンスク」間
一露里ニ付總收入　六、二九一
金線ニ對スル保証金　四、八三〇、〇〇〇

第四線「ペトロパウロフスク」「スパスキー、ガラヴィー」間
一露里ニ付總收入　四、二四五
金線ニ對スル保証金　二、四五九、〇〇〇

○今上鉄道委員會ノ調査（三月十九日高工新報）ニ
新設鉄道委員會ハ「ギアチンツフ」刃禽ノ下ニ掌部
西伯利鉄道布設ノ為ノ各案ニ就キ審査スル
所アリ其要点左ノ如シ
要点長ノ言ニ起シ西伯利鉄道ト本線ノ接続
スルコトハ最モ望マシキコトナレド「アクモリンスク」ヲ分ス

REEL No. 1-1155
0246
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

ナリシ方向ニ有ル線路中ニスヤツリヨリ西伯利鉄道ニ向フ線路ハ技術上地方ノ経済状態ニ伴フ能ハサル区域ノ多キニ鑑ミ今ノ会線路ノ速成ハ望マレカタシ左ハ本線ハ之ヲ「アクセリエフスク」ヨリセレンゲンスクニ至ル「マクク」終点ニ於テハ「ハバロフスク」及「ハルビン」ニ於テ終点ヲ求ムルモノ等有利ノ線路ニ就キ各位ノ意見ヲ徴スルニ「セレンゲンスク」終点案ノ位置ニ就キ述ベル所ノ長ハ本線ノ利益ニ接近セシムルノミナラス故ニ政治上最モ重大ナル意義ヲ有スル而シテ経済上ノ見地ヨリスレハ地方産出ノ穀物ヲ南露及中露各市場ニ輸送スルニ最モ捷

径ナルノミナラス特ニセレンゲンスク「タレチンスク」鉄道布設ノ暁ニハ中央亜細亜ハ勿論亜欧大陸ニ於ケル穀物ノ供給ヲ便ナリ而シテ本線路ハ穀物ノ吸収ニ得策ナル地方ヲ貫通シ亜細亜鉄道ニ接スルモノトス

セレンゲンスク「タレチンスク」鉄道ハ南部線ハ其他本線ハ石炭、鉄其他鑛産ニ富ム地方ヲ通過シ又牧畜ノ盛ナル地方ヲ通過シ「アムール」「ハバロフスク」線布設後有利ニ「アムール」河流域ノ横断スルカ故ニ南部西伯利鉄道布設ノ主眼タル穀物吸収ニ最モ形勝ノ地位ヲ占ムルモノトス「ハルビン」ヨリ東ニ進ミ「スヤツリ」ニ線路ノ延長ヲ計ルニ其所費ニ於

REEL No. 1-1155
0247
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

ラドンレ石炭ト同様ナル石炭ハ南部ノ全方面ノ工業家ノ利ヲ大ナルモノアリト
第三ノ問題ハ南部西伯利鉄道ノ西端ニ接続
セントスル各種ノ「オレンブルグ」塔什干鉄
道ノ一部ナル「アムスク」ヲ撰ビ全駅ト「オムスク」ノ接
続ハ更ニ「オムスク」ヨリ「イレツク」ニ一線ノ布設シ
「ウラリスク」ニ結ビ「シベリヤ」ノ「ウラリスク」ヨリ「イレツク」ニ達シ里海ニ出ツルコレ
ノ計畫ノ如キハ「ウラリスク」ヨリ「イレツク」間ハ之ノ
布設ヒトシク既成「オレンブルグ」塔什干鉄道ノ利用
スルヤ未タ未定ナリ要スルニ未計畫ニ係ル南
部西伯利ノ產穀ノ里海港ニ搬出スル家
ニ捷径ナルコトナリ今後多ノ物資多大ナル
ヘシト云フ

又他ノ出路ヲ一国ニ帝ス南部西伯利鉄道ハ之ノ「オム
スク」ニ止リ目下布設中ノ「オレンブルグ」「オムスク」線ニ
接合スルコトニシテ「而シテ此線ニ由シテ地方產穀
ノ俄羅斯港ニ輸送スルニ便宜ナルヲ以テ「オ
レンブルグ」「オムスク」及「ウラルスク」ノ三地方ニ存在ス
ル幣物ハ原料ノ供給ヲ仰ク里海港ニ向フ輸出路ニシテ「オレンブルグ」「イレツク」
「ウラリスク」線ノ布設ヲ
「ロシヤ」「イレツク」鉄道會社代表者ハ「オムスク」迄回及
「イレツク」線ノ「オレンブルグ」「オムスク」鉄道會社ト
直接有益ナリトシテ其理由ハ全會社ハ競爭
者ナカリシカ故ニ競爭線ナル由リ全會
社ハ目下「オムスク」「イレツク」線ノ踏査中ニ

REEL No. 1-1155
0248
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

アヒラ「マンドラ」ノ接今ヲ変シ「アノ生ビエスラ」トナスヲ得ベシ

○今上（三月廿三日高工新報）

新設鉄道書ヲ急ク三日廿一日終ヲ帝政府利鉄ヲ設計案ノ案ヲ立ツヲ

今鉄道西端ヲ伊ヒヲ是ヲ「ヤカ」ノ問題ノ問ニ「ドルイ

ツ」鉄道会社ニ「オルスラ」「アクセリ

ンヲ」本線ノ布設ヲ許可シ更ニ会社ノ考

レ共西端線ノ京城ノ決定セレスル場合ニ「オ

ルスラ」「マンツラ」線ヲ取ラスシカ布設ヲ会社ニ委

任スベシトノ意見ヲ述ヘタリ

次ニ帝京線ト西伯利亜線ノ連絡ヲ要点線ニ

就キ審議シタルカ「トロスラ」「コリチェトフ」

線設計代表者ノ意見ヲ二計画トシテ「コリチェトフ」

「アクセリンスラ」及「スパスキー」「ガラゴード」線ヲ布設スル

ベシトセリ其理由ハ越シ一計画線ハ特来大

移民地トシテ知ラレ豊富ナ平原ヲ貫通スルカ

故ニ西伯利鉄道ハ後ニ至使ナ

リ不ニ計書ハ特ニ資金ニ乏シ伯利金ヲ得

ベシ

「レヤドリンスラ」「スルカン」「アトバサル」線布設計画ハ「レヤド

リンスラ」「スルカン」間ノ西伯利鉄道ノ貨物ノ人ハ最モ繁

独ヒン白ニ分配スベキ地方的意味ヲ有スルモ

蔵庫ノ貨車ヲ使用スル時ハ倉庫ヲ生肉牛酪ヲ

輸出スルコトヲ得ノ利スル而シテ「カンガル」

「アトバサル」線ノ政府ニ於テ布設ノ欲セサルバ「アトバサル」

REEL No. 1-1155

0249

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

ニ代フルニ「アクセリンスク」線ヲ以テスルモ亦可ナリトノ意見ヲ述ベタリ

○蒙古鉄道計畫（三ヶ世紀ニ亙ル考察）

輸出貿易會社ノ「ヒヨー」ト「ロシア」軍隊ノ下ニ西伯利鉄道ヲ蒙古ニ通ズル鉄道ノ布設、及水道及ニ通常道路ノ修築改良ハ蒙古ニ対スル計畫ノ骨子ニシテ之ヲ極ル：蒙古ヲ指スル露西亞ノ考慮ハ「ケクレト」鉱山：蒙古ノ三大市場即チ庫倫、烏里雅蘇臺及科布多ヲ連絡スル為メニ庫倫連絡鉄道ハ「ムイソウヤ」ヲ始点トシ「ヘヤセイニ」ヲ経テ「ムイソウヤ」ヲ庫倫ニ達スル一線並ニ「トラニギン」ヲ経テ「ウルガ」ニ達スル一線ヲ敷設スル事ハ露國政府ヲ「コンセッション」ヲ得露國資本家ノ手ニ経テ「ムイソウヤ」其他ヲ境ニスル通常道路ノ

開鑿ヲ必要トス：先ツ庫倫ヲ烏里雅蘇臺ニ達スル一線並ニ「トラニギン」ヲ経テ「ウルガ」ニ達スル一線ヲ「イルクーツク」ニ達スル「ウスチーイスキー」及「ブラゴベシチエンスキー」街道ヲ修築シ更ニ「ニヌレンスク」街道ノ南通スル所シ科布多ニ至ル亜南泰鉄道ヲ通ズルノ好ト又「セミパラチンスク」ヨリ延長シ「ビーイスク」ヲ経テ「ウルガ」ニ達スル南部西伯利鉄道ニ出ル為メ改良ニ至ル累線交通路ノ布設スベシ蒙古ノ必要ノ如キハ之ヲ以テ足ル

如上蒙古鉄道各線ノ露西亞鉄道ハ今スル地点ニ於テ牛場ノ役業ニ生産ノ冷藏事ヲ結ビ之ヲ改良シ牛場ノ輸送ヲ容易ニ為シ相場ノ騰貴セルコトハ其他科布多及庫倫ニ獣疫防遏並ニ獣疫ノ改良ヲ必要トス

REEL No. 1-1155
0250
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

碑等ニ崇ヲ仰ケン物々ハ大概上重要ナル事ニ属シ
有之ニ付今ニ於テ野蛮ノ露高ノ手ニ帰スルカ如キ其鉄
道運送ノ低減スル事ハ
水路交通上ノ問題トシテ現在セシパクチエフヨリ
「ザイサン」間ニ於テハ「イルツイシュ」河ニ沿フ航
船ノ上ニ期航行アリ又「ヤールスイ、イルツイシュ」河ニ由
リテ「アムガベリ」ニ至ル間ニ於テハ航船ノ般行ノ開始スル
筈ニ付テハ其支流「オルレ」河ノ航
船航行ニ関スル政府ノ承諾ヲ受ケ露国人ニ於テ経
営スベシ「エニセイ」河「ウリュンバイ」「ウルンガ」河及伊
犂河ニ於ケル水路ノ整理スルコト亦必要也
○南部西伯利鉄道ト資金（三日二万ルーブル）
鉄道ニ於テハ南部西伯利鉄道布設問題

ヤルベシト合ス〻佛英露三國資本家団体ヲ合鉄
道布設要求セシ露西国依ノ他素有前国保
険為ニ政府ノ保険ノ下ニ外国ニ於テ鉄道布設ノ資
ニ信用ヲ与ヘ七億ルーブル募集セントスト
○「トムスク」鉄道布設資金（三日二十四万ルーブル）
露西亜銀行ノ露西亜商工銀行ト共ニ「トムスク」鉄道
ノ引受ヘシト雖モ其社債二千四百万ルーブル
及オレンブルグ線工事費ノ日ニ於テ
○東北島拉「弗」鉄道（三日二万ルーブル）
ペルシヤ縣「ルビン」市歳市会議所ニ交通者ニ対シ報
市ノ提出ス今回新設セントス中東北島拉鉄道

REEL No. 1-1155
0251
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

ノ「ドボリスク」ニテ延長セラレタルノ件報告ノ提出

○烏蘇里線追加工事費（三月廿四日「イルクーツク」ロロ）

六面ノ理由ノ提出ヲ烏蘇里鐵道追加工事費

支出法案ノ議會ニ提出スベキヤト問合セ中

○恰克圖鐵道（三月十四日「ニーケ」ロロ）

交通省ヨリ恰克圖鐵道布設部長宮崎氏ヲ招聘

下ノ後見カル鐵道ノ一駅ヲ恰克圖ニ作開

事ヲ鐵道線内延長ノ方針ニ付議會通過

ヲリ

○常印西伯利鐵道ニ就テ（三月九日「ニーニ」ロロ）

鐵道新設委員會ニ於テ西伯利地方ノ連絡セシムル

オレンブルグ「オムスク」アリモリ

ノ「ドボリスク」ニテ延長セラレタルノ件報告ノ提出

ヒヤラ「ハバロフスク」「ウスリスク」「ポヌレンスク」ノ諸市經

由ノ大鐵道布設ノ當否ヲシ合鐵道ノ延長ニ

三千哩ヲ見ル「ハバロフスク」「オムスク」間ノ

線路布設ハ既ニ二年ノ作ヲアリ方鐵道ノ布設

權ノ保ハ露ノ國ノ勢力ニ屬スル事ニ銀行

多サラメタリ尤モ現在表面上布設權獲得ノ問題

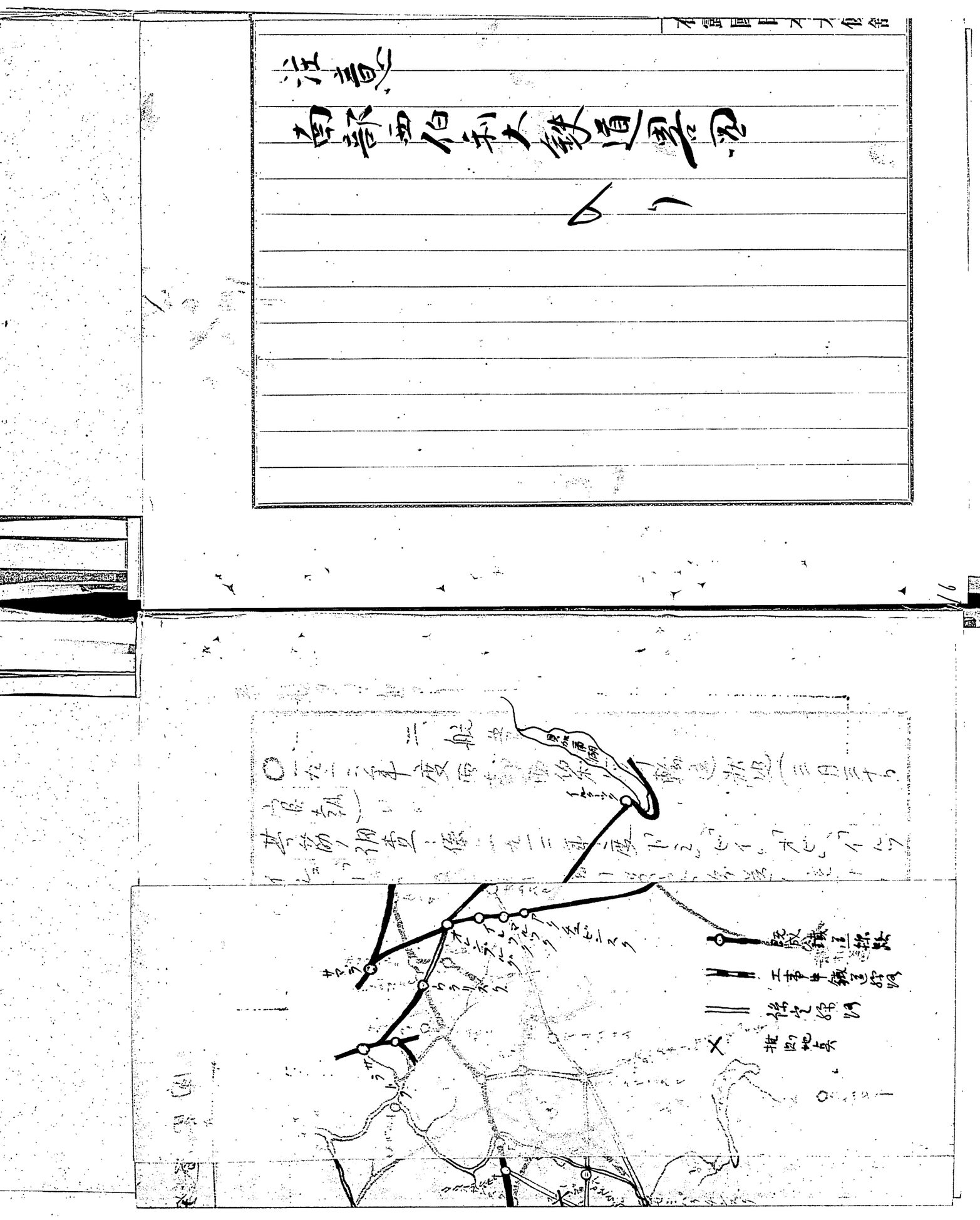
連絡者ニ資本國ニ於ケル日本國ノ關係ノ

於ケアリ

REEL No. 1-1155

0252

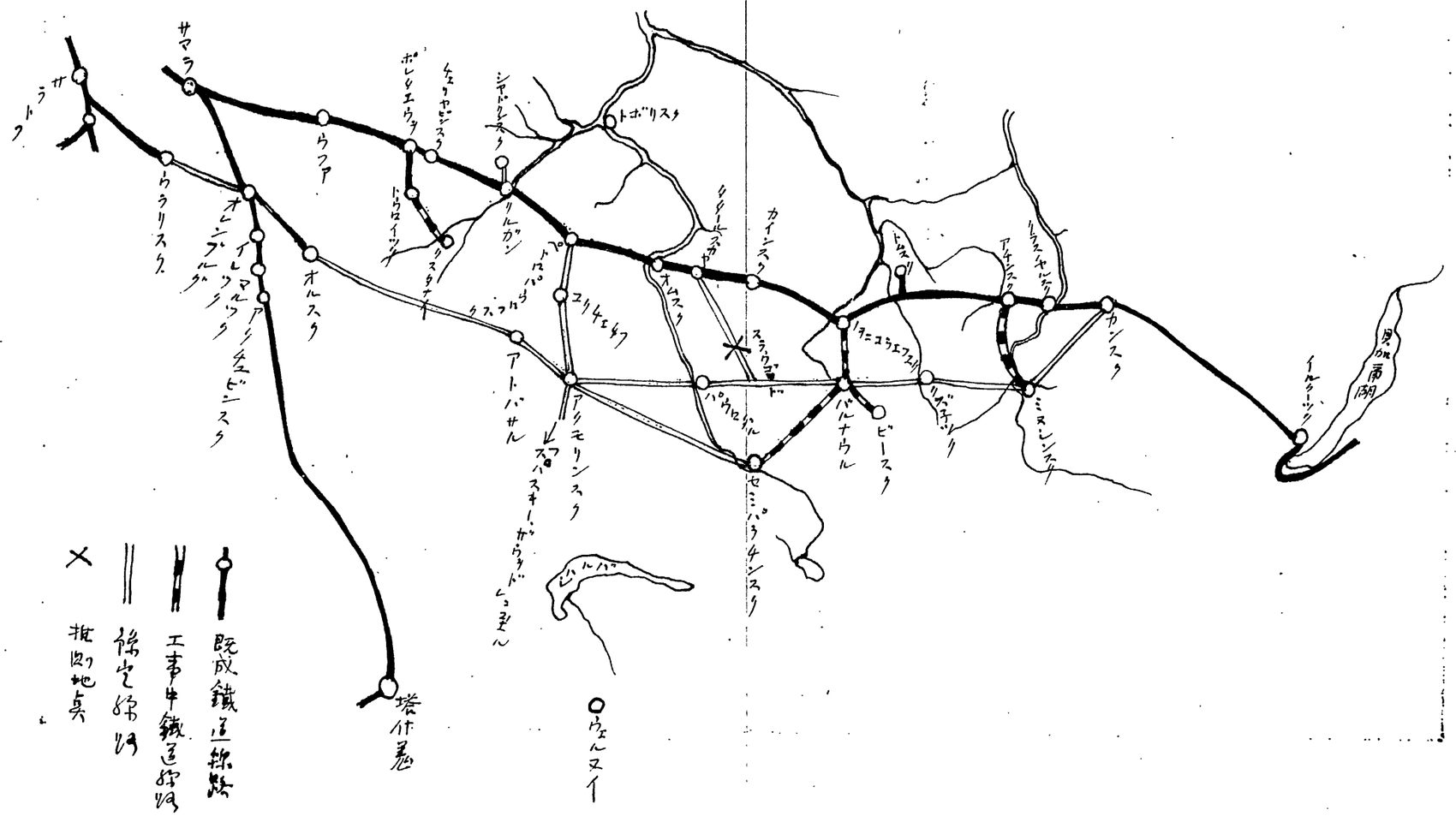
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/



アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

REEL No. 1-1155

南部西伯利大鉄道略図



REEL No. 1-1155

0254

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

二

高橋多吉氏

二、船業

○一九一二年度西部西伯利亞輸送狀況（三月三十日官報）

其筋ノ調査ニ係ル一九一二年度ニ於ケル露國貨物輸送ノ統計ハ左ノ如シ

イレツク、トラウ及エニセイ諸川貨物輸送ノ統計ハ左ノ如シ

貨物輸送ノ種類 四千二百十

貨物輸送ノ噸數 二万千九百十二人

貨物輸送ノ噸數 二万千九百十二人

貨物輸送ノ噸數 二万千九百十二人

船客二千三百二十人、各種貨物四万九千三百〇布度（白木材四千〇百五十三ポンド二百〇布度）ニシテ之ガ年度即チ一九一一年度ニ於ケル貿易貨物ノ四千一百万布度ニ達シタリト

○「コルイマ」河航路（三月廿八日官報）

北氷洋ニ朝ス「コルイマ」河ノ航路ハ昨年ノ例ニ倣ヒ今年ニ於テモ行ハルヽコトヽ目下既ニ準備中ニアリ即チ汽船「ムビルス」号副船長「コロフ」ノ指揮ニ「イルクーツク」及「ヤクーツク」ニ経テ「下ゴルイマ」河ニ至ル水路ニ向ヒ出発セラル極東地方ニ新開ノ企画ニ拠ル「コルイマ」河ハ二向ヒテ昨年「ビッシ」船長ノ下ニ全地ニ航行セル汽船「コルイマ」号船行ヲ了ヘタルモノニシテ七月十四日浦港ヲ出帆シ白

令海ニ於テ適當ノ時期ヲ俟チ目的地ニ航スベシト雖モ全船ハ結氷ノ為メ船体ノ自由ヲ失ヒタル場合ノ為メニ紀元自由ノ金令ヲ携帯セリ之ハ結氷ノ為メ万一ノ場合ニ乗組員ノ生命ヲ救フ為メニ必要ナル件書也金屋令ノ價格ハ五千番ニシテ

○水路局令第一番ノ番号通達（三月廿七日官報）

道路及交通委員会令ハ左ノ如キ第一ノ場合ニ於テ

（一）浦港内ノ工事許可ノ件（三月九日付ノ工事）

許可ノ件（三）ペテルブルク「ロバロ」ナデシサ」ニコラエフスク「マリウポリ」ニ於ケル該港ニ於ケル一九一二年度許可ノ工事ニ準シ一九一三年度工事ニ要スル経費額

決定ノ件（四）「ラ」ノ「ダ」港工事許可ノ件（五）黒龍河口ノ伏甲ス浸漬機械許可ノ件

REEL No. 1-1155
0256
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

○東亜航船會社傳（三月十六日所報）

東亜航船會社「リガ」航船會社ヲ合併シ資本金七百万円ヲ三十万円ニ減ジ次ノ航船ヲ買入レタリ

（一）「リスボン」号
（二）「ルシタニア」号
（三）「ボルタ」号
（四）「ヨルダン」号
（五）「リガ」号
（六）「ロンドン」号
（七）「コンスタンチン」号

○航業奬励策（三月十日「デーリー」）

高工者ハ露國航船業特別ノ一部トシテ海軍ト交渉ノ結果全部本年度ヨリ多地ノ輸送ニ本船賃ノ百分ノ五十ヲ露國航船ニ搭載スルコトトシタリ而シテ露航ニ搭載セザル本船ノ割賃ハ本年度ノ五十ヲ加フルコト

○露支貿易航船會社ノ特典（三月二十五日「ロンドン」）

内閣會議ハ露支両国境ヲ無賃渡ル「イルクツイエ」河ノ航運業ヲ云ハル目的ヲ有スル露支貿易株式會社カ右事業ニ使用スル航船買入代價トシテ貸付ケタル金貨十二万円ヲ細メレルノ特典ヲ与ヘタリ

○極東港湾修築費支出（三月二十六日「ロンドン」）

「ウラジボストク」港ノ「ドック」ナイ」河及黒龍江口修繕費ヲトシテ國庫ヨリ七万「ルーブル」ヲ支出スルノ決シタリ

○露支貿易航船會社（三月官報）

高工者ハ露支貿易航船株式會社ニ対シ官設「ウラトキンスキー」鉄所ニ属スル航船代

REEL No. 1-1155
0257
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

金支拂義務遂行ノ期限ヲ延長スルコトニ関シ内閣ニ提出スル件アリ

會社ハ露西亞境ヲ接スル蒙古イルクツク河流域ニ於ノ事業ヲ営ムモノナルカ近来全地方ハ露西亞勢力ノ有望ナル事ト増加シツヽ蒙古系移民ト交易ヲ行フ上ニ於テ最モ重要ナル意味ヲ有スルニ至リタル故貿易事業策講究ノ目的ヲ有スル特別會議ハ陸軍ノ規約正シキ費額ヲ超ユルモノニ付テハ直ノ便宜ヲ得セシムルコトアリ旁々会社カ全ク一ツノ独立ノ法人ナル以上ハ別段明ラカナル理由ノ存スル所ナキハ勿論ナリ

対シ十分ノ注意ヲ払フベキノ意見ノ附セラル

三、農業、灌漑事業

○中亜灌漑事業（三月廿八日報）○

土耳機斯坦新聞ノ記事ニ依レバ「ゴルドナヤ」曠原（「カアルヒカレド」ト稱ス荒地ノ中間ニ位置ス）ノ灌漑工事ハ既ニ着手セラレ今春内ニ六万ヘクタールノ土地ニ対スル灌水ヲ完了スル筈ニテ次ニ二万ヘクタールノ灌漑ヲ見ムベシト云ヒ全体ニ全面積九万ヘクタールノ灌漑工事ニ一九一四年春季ニ於テ開始シ目下全灌漑地ニ亦ノ使ク下ノ諸稿ニ於テ既ニ競争入札ニ附セシ地区モアリトノコトナリ

○全ロ新報（三月二十七日ハルビン、カレーニン）○

農務省ニ於テハ土耳機斯坦「ゴルドナヤ」曠原ニ於テ二万ヘクタールノ土地ニ灌漑ノ行ヒ内地ヨリ全

在露國日本大使館

REEL No. 1-1155
0259
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

地ヘ農民ヲ移住セシムル内務ノ事業ノ終了ヲ待チ
来内務ヨリ更ニ移民ニ適スル地面ヲ調査シ合瞞
原ニ於テ農耕ニ適スル地面ヲ四万六千乃至六万
的ニシテ移民戸数ノ概略ニ百七十
番ヲ見積リ

在露國日本大使館

四、殖民及官有地内務
○後只今ノ殖民地迄（三月廿九日報）
農務省ヨリ皇帝事務局ノ合意ヲ以テ子ハ
スヲ迄ノ土地ヲ殖民ノ為ニ使用スヘキ計畫案ヲ
内閣ニ提出シタリ合案ノ要領左ノ如シ
皇帝事務局ニ属スル全ク子ハスヲ迄ノ土地ニシテ
殖民ニ適当ナルモノ目下使民ヲ有セサル部分
ハ之ヲ國有トナシ而シテ移民用地トシテ農務
省ノ管轄ニ移スコト但シ合地方ニ於ケル地下
權ハ現行法規ニ拠リ皇帝事務局ニ於テ
留保セラルヘシ
殖民地迄トナルヘキ右ノ如シ
一、一八二地

在露國日本大使館

REEL No. 1-1155
0260
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

二、官有等附地ニシテ御下賜限終アルモノ

三、村高ニ編入セラレタル皇室事務所所管地

農務省所管地ト称シ其管轄ノ下ニ移サレタル土地ニ対シ出納スル所ノ四十九年間毎年一町歩ノ二十二割合ニ次ノ皇室事務ニ地代ノ納入スルモノトス

○移民ノ経済状態（別紙参照）

西伯利移民経済状態ニ関スル農務省ノ調査ニ拠レハ一九一一年及一九一二年ノ二年ニ亙ル移民アリシニ次ノ如シ

「ウラジオストク」州ノ二郡（「アルチョム」及「オルロフカ」）

「ウスリー」州ノ三郡（「ポクラニチヤヤ」、「ポクラニチヤヤ」及「ニコリスク」）

「エニセイ」州ノ三郡（「アチンスク」、「ミヌシンスク」及「ミヌシンスク」）

「アムール」州ノ三郡（「ブラゴエシチエンスク」、「ブラゴエシチエンスク」及「ブラゴエシチエンスク」）等ニ於ケル村落ト認メラレタル戸数ノ内三万戸ニ対シ農務省移民ニシテ未タ地目ヲ所有スルモノ一万人ニ対シ二・二%ト云フ又割合国ノ平均率一・五%ニ対シ二・二%ト云フ

耕地ニ於ケル五倍・七%ニ及ヒ森林地ニ於ケル五倍・七%ニ及ヒ

在露邦人保護関係雑件 在露国日本大使館

REEL No. 1-1155
0261
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

四〇〇一平均三五・一〇〇〇しかも此ノ耕地ノ大部分
播種セラレ草刈場ノ四二・七〇〇〇反ハ
農作物ノ内麦五〇〇〇燕麦一七〇〇〇しかも裸
麦ノ東西両部面仙利ノ間ニノ森林地ノ開墾
セラレ穀物ノ収穫量ノ点ニ於テ年々平均ス
ルニ一般ニ付裸麦五十六万六千貫燕麦四十六万六千貫
大麦四十八万六千貫
古地利ノ充ル処ニ於テハ移民ノ耕地ノ新ニ採
リ一般ニ共ニ所有ノ形式ヲ有スル即チ四百四十
七ヶ村中四百十三村ハ土地共有制ヲ取リ八村ハ
反別土地所有制ニ於テ六村ハ独立土地所有制
ヲ取レリ
家畜飼養頭数ハ各地一様ナラズ曠原地方
ニ於テハ一反ニ付平均牛五頭一ヶ家畜十頭ニ
保澤森林地ニ於テハ牛三頭一ヶ家畜六頭ト
ナス
金石類二万六千百六十四ドルの現金及物産ノ
収納ノ分ハ一百二十六万一千八百四十三ドル即チ一反
平均四十三銭ナス
移民ノ資金ハ其他里ニ於テハ比較スレバ
里数ニ於テハ三万三千〇百一ヶ五千一七百一反平均百六十一銭十リシテ
ノ金ハ補助金其他ヨリ増加シ一億一千九百九十〇百一
反平均四百六十六銭十リ二百二十七銭ノ増加ヲ見リ
ナリ
○理事官傍者内題（三月十六日高工部報）○
三月十七日農務者均分心得ノ件ニ付爾ノ下ニ

REEL No. 1-1155
0262
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

樺太露領勞働者内訳ニ関スル各者代表者陳述
人雪国ノ為メニ其保護ハ重要ナル点ノ如シ
一、一九一三年度各者作業建築工事国費ノ追明及
囚徒ノ労働ノ件
二、労働者ノ孫中終業者ノ増加ノ件
三、運賃特典ノ範囲拡張ノ件
四、招令所ノ拡張及出張勧解裁判所設
五、労働者ノ土着保護及市町附近ノ労働者
居住地区設定ノ件
六、黄人種人ニ関スル例外ノ件
七、翻訳官以外ノ官吏ニシテ黄人労働者ニ関スル
規則ノ変更ノ件
○樺太露領労働者内訳（二月廿一日会上）

三月十七日移民課長ヨリ近日会ノ下ニ黒竜
州道總督ヨリ移民及関係各者代表者会
議ノ開キ来年ノ黒龍州道各郡ニ向フヘキ労
働者国独逸ニ関スル新ニ協議スル所アリ
移民課ノ提出スル資料ニ拠レハ昨年ノ全満百
ヘ数千ノ露西亜労働者ハ男女合計八万八百三十三
人ニシテ其中労働期終了ト共ニ政府ノ帰還
セシモノ七万九千人アリ無ルニ既ニ種蒔地方ニ土着
セル労働者ノ数二万人アルヲ以テ此等ヲ合計スレハ
拾万人トナル而シテ此ノ労働者
ノ数ハ保ニ平均二
万九十弟乃至三万百十人ヲ以テ毎年ノ労働者
カ其ノ帰国ニ際全ク空手ニ
度ニ於ケル所謂露国労働者数ハ五万人トスル

REEL No. 1-1155
0263
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

在露國日本大使館

労働者ノ移動ノ容易ナラシムルニ鑑ミ旅券ノ改正スルコトト又一方ニ於テハ
年移民ニ関シテ西伯利鉄道中ノ労働者ノ給料ニ如何成績ノ如メルニ本年度ニ於テ
モ全ク同様ニ中ニ拘ハラズ四千餘ノ計上ニ在給
費ニ充ツルコトトシタリ又労働者ノ船車料其他
移行ニ関スル特典ノ寡施期ニ三ヶ月間即チ九
月ハカヨリ十二月ハカニコヲ延長スルノ必要ノ認
メタリ尤ニ工事進行ノ状態及外陸交通上ノ
故障ノ為メ本年帰還スルニ纏ノ労働者ノ現
在ノ特典施行期限内即チ九月二十八日ニ帰
帰国シ能ハサル事情アルヲ考ヘ
合算ニ一九一二年移民費ノ設定ニカヘル理由

労働者移行ノ件（ブラゴ山ヒ全ニ支店及埠場ニ
本部ノ置キ八八ハルフスク市尼古来夫斯支店
ニ支部ヲ置ク）ノ事務ニ就キ寡課ニ全機
関ヲ以テ全力ヲ注ク為メ労働者ノ状況ノ一般
労働者ノ間知セシムルコトヲ其急要ト認ムル
シトス

○一九一三年度移民費（五月ハ六日会上）

移民費ノ総計ニ一九一三年度ノ西伯利亜移
民総数ハ二万五千九百八十人内金総全地ニ土着シタルモノ
ノ二万〇一百ノ二七人単独渡航移民五千八百五十人ニシテ
昨年ニ多数ノ移民ノ出シタルハ一ツハ北
方地方ニハ又全年ニ移民ノ殺減ニ帰還ヒシ移
民数ハ三万四千人（ニシテ一九一二年ニ七千人）

ニ比シ著シク少数ナリ移住地オノ〻トムスク、エンロイスク及イルクーツクノ三路並ニセミパラチンスクノ如シ

○黒鉄方働者（三月二日付ウラジオストクより）

昨年中黒竜鉄道工事ニ使役セラレシ労働者ニ五万人ニシテ伊セ露西亜人ナルカ如シ其支払賃銀ハ多ク五月分ノ如キ労働者ノ年ニ使ヲナシタルモノトス又ブラゴエシチエンスクノ工事ノ如キハ一年ノ職工総数ハ西暦千九百一年ノ職工総数ニ比シ五倍ニ達セリ

○黄人方働者ト満洲商業会議所（三月二十五日付）

平壌十七日発電報ニ拠ル所ニ拠レハ満洲商業会議所ハ去ル地方ニ黄人労力ノ需要ヲ生シタルヲ以テ電報ヲ以テ内国ニ通諜ス

依テ黄人労力ノ輸出ヲ禁止スル場合ニハ満洲方面ニ於ケル商工業者ハ大打撃ヲ被ムルヘキヲ以テ其地方ノ解放セラレタル即チ全商業会議所ハ諜報ハ地方的和約ノ為ノミ黄人労力ノ必要トナリタル満洲ノ一部人士ハ露領ニ黄人労力ヲ仰ク場合ニ露国ハ黄人働者ノ其職ヲ奪ヒ地方ノ労働界ニ多大ノ影響ヲ及ボシ従テ露西亜貨ノ需要出ナリト国家的及地方的投資ハ極大ナリトノ主義ノ抱ク所ニアリ結局其内部ニ超ヘ露都ニ於ケル黒龍会ノ如キ特別評議会ノ孫ノ所ニ至ルヘシ

五、高工業

○露其他都市ノ西伯利各市歳入ノ膨脹（高工業歳入自二月）

西伯利各地ニ於ケル高工業ノ発達ト共ニ各都會ノ歳入ハ近来著シク膨脹シ来リ今一九一〇年度全歳入ノ一九〇四年度歳入ト対照スレハ左表ノ如シ

	一九〇四年	一九一〇年
イルクーツク	一、〇三九、八〇〇留	三、八〇〇、五〇〇留
トムスク	六四一、五〇〇	一、二〇五、二〇〇
南部斯徳	四〇三、〇〇〇	九八〇、〇〇〇
ブラゴヴェシチェンスク	二六七、〇〇〇	七六〇、三〇〇
クラスノヤルスク	一八五、三〇〇	四八〇、五〇〇

REEL No. 1-1155
0266
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

不平等	六一四、四〇〇
一二六、四〇〇	二四〇、五〇〇
一〇〇、〇〇〇	五六〇、〇〇〇
一〇五、八〇〇	一七〇、〇〇〇
四七、〇〇〇	二〇〇、〇〇〇
二七、五〇〇	四二〇、〇〇〇

ノヲ、ニコラエフスク
ポリスク
ハバロフスク
ブラゴベシチェンスク
ビイスク
チタ

○黒龍州果實高ノ沿革（三月六日分合上）

黒龍州各市果實高ハ其工場ニ差出シタル代金書ノ要領ヲノベシ、黒龍省ノ果實樹ノ栽培ニ適スル故ニ其需要果實ハ露支國境ヲ越ヘテ輸入セラレシ後果實ノ第二支那ノ代ニ限ラレテ以来毎年高ハ漸ク多シトスル如ク政府ハ果物ノ産業ヲ奨励スル

農家ニ於テ拵ヘラレタル鉄道運賃ハ八千露里ニ対シ一布哈三露ヲ要スル：前記ノ如ク西果實ハ吟分實ヲ以ツテ支ヘラレシマシ（布哈ハ仕掛五厘乃至二十五厘ナリ）政府ハ鉄道ノモノハ市場ニ於テ競爭スルコトヲ能ハサリシ政府所産果物ノ黒龍州ニ供給セント欲セハ（一）政府各鉄道ヲ「ストル生ニスル」ハ由今地ヲ以テ船舶運賃ノ低減スルコト（二）支那西境ニ対シ鉄道及汽船運賃ノ低減スルコト（三）支那西境ヲ鉄道及汽船運賃ヲ以テ輸入セラルル果實ニ対シ関税ヲ課シ内国産ノ果實ハ其運賃ヲ生ス言フ

平均インフレスト為セサルカラサルコトヲ云ム

○ハバロフスク高ハ輸出入ノ便法（三月八日分合上）いい

大藏大臣ニ高工大臣ト協議ノ結果黒海ヲ経

REEL No. 1-1155
0267
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

今ハ仁川斯ノ港湾ヲ「アルイ」及「ウラジオストク」ニ経由出入スル仁川斯ノ高丈ニ対シ無税通過輸送ノ許可スルコトハ以ノ通常ト徳メタリ但シ該高ハ円ニ課セラレ一平方税支払ノ保障トシテ一八九四年三月十八日（露暦）付規則ニ基ク担保ナスモノトス

○露国産塩樺太輸送量

通信省事務官倉内食塩輸送輸送事務一般改正ニ関スル昨年五月開会ノ特別委員ノ議決事項ニ基キ本年三月開会ノ臨時議会ニ提出セラレタル法律案ノ第一条ノ下ニ一項ヲ追加シ一布哇ヲ含ムノ一項ノ割合ヲ以テ或ハ一定距離ヲ里海哩ニアツテ海ヲ食塩ヲ輸出スルコトヲ能フヘシト徳メタリ而シテ本日時ニ高工者ノ通信省事務ニ関スル

樺太港仕向ノ食塩ニ限リテ陰海運輸送ニ由リ鳥取駅車借西鉄道各駅ニ仕向ケラルルモノニ関シ要求スル所アリタリ今回該要望支出通輸送事業ニ関スル見込ノ点ニ付今係ノ書ニ陸ヘルコトニ決シタリ

○中亜貿易費用

三月十日輸出協会中亜及東亜部ニ於テ「デニフ」氏ノ会ノ下ニ集会ノ開キ「ヴ西ノ阿国ト貿易ニ関スル「シャルル」氏ノ演説及支那土耳其地（嘗仁等ト）ト露西ノ関係ニ就キ「グルイジヤノフスキー」氏ノ講演アリ其要旨ハ「露西対阿富汗貿易ニ関シ防禦ノ防禦ノ為ニ取リ高七万露西ノ九年ニ取リ

REEL No. 1-1155
0268
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

一二年度一千万貫ニ達シタリ露国商品ノ主要ナルモノハ砂糖、鉄類、織物、ビール阿芙蓉ナリ輸入ノモノハ米穀、豆類、麻花、果実ナリ而シテ露国ハ毎年本邦ニ対スル輸入超過ノ為メニ金銀ノ流出ヲ来シ陸海軍ノ費用ノ一方法ニシテ之ノ保護ヲ与ヘ又ハ其ノ産業ノ発達ヲ図ルニ至ルヲ以テ「アムール」河ノ豊富ナル水利ノ整理ハ全ク沿岸諸国ノ急務ニ属ス

典ノ如ク交通ノ増加ハ「ウルカンドー」「デルメズー」ノ連絡ハ鉄道ノ敷設ニ待ツモノ多シ「ウラジオストック」ノ連絡スルコトハ阿芙蓉ノ産地ノ移入税ノ軽減スルコト（右ノ輸入税ノ軽減ハ露国産ノ輸出高ノ増加ニ伴フモノ）而シテ布哈拉政府ハ其国境ニ於テ現ニ税関ヲ有シ若クハ特来税関ヲ設置スヘキ地方ニ於テハ露西亜商工業者ハ露西亜臣民ト同地位ヲ与ヘラルヘキ筈ナリ

露国ノ右通達ニ就キ露西亜ノ船業経営者希望者ハ其特典ヲ受クヘキ条件ニ就キ申出ツルコトヲ且露国内ニ於ケル両国商人ノ標利ノ公等ナラシムコトヲ以テ認メタリ

「ムイ」ヤノフスキー」長官ノ露西亜臣民ト支那土耳機斯坦地方ニ於ケル貿易ノ大ナル障碍タルヘキ噶什哈爾ノ一大通商路ナリトナシ露西亜ノ「アンジ」中ト「ヲ」間ノ道路構築修

REEL No. 1-1155
0269
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

築及驛站ノ設置ニ関シ相当ノ処置ノ就ニハレトノ意見ヲ述ヘタルニ過ギスヘラレシ貿易協會支部開設ノ希望ヲ述ヘタリ

○露米貿易協會設置ノ件（三月十九日合上）

オゼロフ、ゴロヴニン両教授及在墨斯科米国總領事等発企トナリ露米貿易協會設置ヲ図ル旨ノ趣意書ヲ高工者ニ提出シタリ

○支那国境木材ノ無税輸入（三月二十六日合上）

支那及露国ニ接スル露国ノ境地帯ニ木材ノ無税輸入ヲ許スコトニ関シ伯爵ヲ元老ノ諮詢ヲ高工者ニ寄セラルヘキ所ナリ元来右ノ件ニ恰度国家ノ市高等團ヲ提出シタルニ付之ニ対シ露国境五拾露里

免税地帯拡張ハ未ダ西境在住ノ人民ハ従来ノ如ク支那領ニ木材ノ伐採ヲ仰クコト困難トナリ甚タ不便ノ感シアリ殊ニ恰度国及ハルビンコサックスク等ニ於ノ兵営建築ニ従事スル住民等ハ木材ノ欠乏ヲ契約履行不可能ノ状態ニアリト右ノ事情ニ依リ伯爵ハ總督ハ國境五十露里免税地帯ヲ一時停止ス木材ニ對スル保税ヲ免スルコトノ必要ヲ感シタリ

○樺茶運賃低減（三月廿五日合上）

恰度国高等国長ハ等ハ露国高等者露ノ目的ヲ以テ陸路哈爾賓「ウラジオストク」ヲ経テ合地ニ輸送スル樺茶ノ鉄道運賃ヲ率低減ス様ニ乾ヤ其筋ニ話セシタリ合法ノ見込有

かに付ては露西亞政府に於て事実を調査せられんことを

○樺太総督男爵内務大臣（仝上）

三月二十四日の閣議に於て浦港商業会議所長つぶすレビニコフ氏より電報を以て提出したる樺太総督男爵の原因に関する内務大臣の結果を内務大臣ゴンダッチ氏より貴族会議代表者に移し更に審議の結果決定したり

但し黄人労働者排斥に関する上申は採用せざるも内務大臣の決定は第二読会に於て修正せられんことを

○独乙領事館設置（三月廿九日仝上）

独乙に於ては通商条約会議に露西亞外務省に対し露西亞地に独乙総領事館の増設方の連絡を

り之に伴ひ露西亞の現在独乙殖民の一大市場たりしこと多く特に露西亞に於ては著しく露国の増地せられたる勢力を以て露西亞内地に於ては独乙領事館の甚だ少く其後長年月の間に於ては独乙の勢力は上の如き有様なりしに反し仏国は仏蘭西人の数多く且つ其他ユダヤ人の如き「ポレンジャン」「ベルソン」「ミンスク」「ロストフ」及び「ウラルスク」の諸地に於ては

REEL No. 1-1155

0271

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

ルカ如キ「各市ノ如キモ露西ノ大市場トシテ欧
亜貿易ノ代理仮事ノ仮置ノ希望スル
○極東自由港廃止法西伯利
一九〇九年一百十三号（露暦）裁可ニ基ク勅
令府令第内務省令
カ如キ輸入スル外国貨物ノ自由貿易ヲ停止シ
関スル法律ニ関スル法案ハ今回高
工者ヨリ下院ニ提出セラレタリ其説明書ノ要旨
ハ次ニ二年ノ和定ニ係ル法律ハ陸路清国ト境
ヲ接スル露国ニ輸入スル清国貨物（茶、穀物ヲ醸造
セル酒、「ウォーツカ」ヲ除ク）ハ西伯利住民ノ生活的
必需ノ物品ニシテ無税通関
ノ恩典ヲ与ヘラレタルモノナルカ其後西伯利鉄道ノ布設セラル

ルヤ清国製品ノ外観ヲ装ヒタル外国製品ノ西
部西伯利ニ輸入セラルルモノ漸次増加シ来レリ之
カ為メ露西亜工業ノ利益ヲ毀損スルニ至リ実
ニ法律ノ精神カ全ク事実ニ効ナカリシコトヲ
明ニシタリ是ヲ於テカ事既ニ露西亜国境ニ於ケル
海関就任以来カ為ニ別ニ特別関税法ヲ施
行シ「イルクーツク」及ヒ「西部国境一帯ニ於テ政
露国境ニ共通ノ総関税法ヲ施行スルコトトセリ
一九一二年十月二十日緯結、後露西亜政府ハ
ニ当ル露西ノ高世ノ上ノ特権ニ実ニ偉
大ナルモノナリ然レトモ露西ニ輸入セラル
モノニ対シテハ関税ノ徴スルニ其ノ価値ノ如何ニ
シテ露西ノ親善ノ維持スル所以ナラスト雖

REEL No. 1-1155
0272
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

ノ露漢学ヲノ友如的南係ニ警シレハ文那警察ノ如ク
報ス外国ハノ露国ニ動ノ如ク、危険ヲ示顧
ミンニハ止ラスト思ハレサルカ故ニ南工大臣ハ工兵機
斷ハ及嗇ノ原西縣等ノ海参威迄ニ「トムスク」
及「エニセイスク」西縣ト支那及蒙古トノ國境ニ於
ケル英、教和縣等ノ間及「ウラジーボストク」ノ際リ一切ノ支
那及蒙古人ヲ露ハノ無税通商ノ許ス迄
者ノ及ヒ出ナリト信スルナリ

○在清国露国公使ノ露国政府ニ対スル報告（三月一日ノ「ペーウエ」ノ「ペテルブルグ」ノ「ストラエフ」ノ報告ノ
在清国露国公使ノ報告ニ於テ「ペテルブルグ」ノ「ストラエフ」ノ報告ノ
下ニ清国在留露国人代表者ノ合資保険商ノ合資会社
ニ露西亜總領事、高等事務官、高工省特務官吏等
ノ清ノ主トシテ露蒙通商ノ考査ノ因ル内越後

迂路ノ如クニシテ之ヲ南露ニ蒙古内越ニ関スル許
保金ニ於テノ審査ノ果シ得サレ諸内越ノ審査ノ日
的ヲ以テ在留高代表者ノ説明スルトコロニ依レハ清国
玉旗及両部蒙古ニ於テハ専ラ茶並ニ軍備ノ撤廃
各種租布ノ方ノ主ト有金保険ノ茶ノ蒙古ノ駱
送スルヲ以テ両港及内ノ内ノ人ノ蒙古ノ駱
南蒙ニ又蒙古市場ノ露西亜磐道ノ駱駝ノ
目的ヲ以テノ西磐租布ニ対シ課税セラルノ必要トスル
奥又合資保険ノ意見ニ於テハ清国、
清国内ノ陸路ノ由ル貨物輸送ノ事業ハ清国
軍銃送ノ外ノ他国商ニ与ヘレ及バーンフレニ許レス
ル責ノ地方ノ利益ニ与スルノ如キ有用人ノ如キ市場
ノ指定セラルノ撤アリ露西亜通商ノ蒙古ノ

REEL No. 1-1155
0273
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

そノナリトナン之ニ対シ伊少慶安ニ出スコト決シ
タリ而シテ金鑛機械ノ多クハ高所ニ不便不
利カカナシハ事倫ニ銀行ノ設置シ不印產ニ拘係
トシテ貸出ノ行ハレムヘキコト並ニ在露倫敦
居留民ノ生活狀態ハ改善ニ因テ因難ナシ
居留民間ニ自治的ノ施行ヲ企ト等ノ御決定ハ自治的
法規ノ発布ノ如キ
地方事ノ
ヨリ
ヲ
終レリ

（新ノ重要ナ）

大、鑛ノ豊凶

○後見カ為ニ於ケル新採金業（三月廿八日報）ハ
地方新聞ノ記事ニ拠レハ近頃自再義技師ガスタ
フ、ベルメル又「ジオルジ、メイリンベルク」両人「イルクーツク」
ノ経由シテ後見カ為ノ列「バルグジンスキ山脈」ヲ通過シ
レタリ今人ハ「ア」郡森林地ニ於ケル採金地ノ視察
ヲ目下両名ハ「ボルシヤ」ニ使用シタルコトナリ
新器械ヲ以テ採金事業ヲ経営スルコトハ
元来金毒地ニ金鑛ヲ含ムヲ以テ名アルモ
所得ハ永久的連続ナシ採金事業ハ困難ナ
リ而シテ従来ノ採金法ハ「ボルガ」ト稱シ其ノ
格サヲ示ス地面ノ砂ノ傾ニ採金シタルモノナ
リカ斯ル幼稚ノ方法ニ頼ラサル
ヲ得ス

REEL No. 1-1155

0275

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

メ戴リシノ第二ノ平義人ニ対シ重要
四百布ヲ布ヲ蓋系統機ノ取扱ヒ
冬期地盤ノ凍固ニ待チ之ノ事業地ニ運
搬シ其ノ時ニ始リ候事業ニ着手スコト
○「チュコト」半島貴金属調査（三月一〇高工技師）
高工者ノ提案ニ基ク二月二十分内閣ニ交通
技師ヲシテ「チュコト」半島ニ於ケル
金、白金及鉱業法ノ二〇条ニ記載シタル条件
金鑛偽鉱ノ調査探検ヲナサシムル
ヲ以テ決セリ

七、二文通

○吟克国軍備ヲ電信（三月四日ノ行動ニ関シ）
昨年九月軍備及要塞城ニ於ケル電信ヲ以テ
古政府ノ管理ニ帰シタルヲ以テ政府ハ右電
信ヲ以テ吟克国官吏ヲ通ジ職ヲ雇人ヲ以テ之
ニ代ヘタル電信科ニ従フノ通リ一語ニ對シ
吟克国軍備用ニ拾弗市ト軍備保護ヲ
ノ為ニ弗ヲ以テ電報料ノ高率ナル
ハ我ノ公ノ要求ニ対シ電報料ノ減額ヲ
府ハ大北電信会社ト協約シ右電報料ノ下
ケシカ又ハ新ニ吟克軍備ヲ電務ノ為設ケ
レ

○郵便物送附（三月二十分高工報告）

内務省ニ於テ布告後録ヲ「オツサ」バフマチ」ト称「セメ」
「オムスク」ヲ「シベリヤ」「トブスク」「カメロフ」「ボドリスク」ヲ及
「マーカンド」「ナマンガン」ヲ称シ急便輸送機関設置ノ
件ノ閣議ニ提出ヤラ

第二 之ニ対シ司法及行政
○右ノ閣議抜粋及新設法案(三月十一日ノ分)
下院法案所属決定番号ノ左記参照法案ニ変更
ナリ
一、上海、哈爾賓、漢口、領事館定員ノ改正、海軍
副領事館ノ設置ニ関スル法案
二、シベリヤ、ブラーゴ、副領事館(仮称)設置法
案
三、鳥里雅蘇台領事館附属官吏設置法案
四、新布多、「ビラスメ」領事館ノ「ビヤラスメ」領
事館ニ改称シ其ノ新布多領事館
設置ニ関スル法案

REEL No. 1-1155
0277
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

五、ブエノス、アイレス領事館ヲ設置シ、リオ、デ、ジャネイロ領事館ヲ廃止ス

六、伯林、倫敦、紐育、巴里ノ各總領事館ヲ「ベルリン」、「ロンドン」、「ニューヨーク」、「パリー」ト改称シ、「ベルリン」ノミ公使館ヲ置キ、「ロンドン」、「ニューヨーク」、「パリー」ノ各領事館ノ位置ヲ公使館ニ改ム

○理事官及領事館建築費支出案（二月廿七日閣議提出ス）

外務大臣ヨリ閣議ニ提出スル各庁案トシテ左ノ如ク

公館建築ノ費目ニ関シ閣議ニ提出シタル中ニ

左ノ各項ヲ含ム

一、在上海総領事館ノ為ノ土地購入費……

……

……

……

二、在安地ノ領事館建築費……

三、在釜山副領事館建物造営費……

……

……

……

國務大臣ト合一ノ機能ノ有セスシテ當分政府部内ニ於テ独民者設置ノ議アリシモ此議モ其後消滅シ以前記事務官(考ヘ方ハ保留)ヲ新設スルストトセラル又風説ニ依レハ右新官衙ノ設置ト合時ニ絶東大守ノ職制復興セラルヘキモ今回非ナルヘシト

○在露帝國領事鄭[illegible]

○曙ノ管地方ノ行政改革(三月二十五日行ヲ太ハレーヒロ)

内務者ハ「ギルギーズ」及ヴォイリ両種族人民ノ住ス地方ニ於テ行政ノ可成多ノ組織改革ヲ施スヘキ案ノ提出セラレタリ今回案ニ依レハ帝政露西亞利用ヲ曙原及アストラハン縣内ノ

中ハイリ曙原ニ於テハ現在ノ制度組織ヲ廃シ之ヲ曙地ニ而シテ右地方ニ普通ノ縣制ニ依リ行政ヲ施行スヘシ

REEL No. 1-1155

0279

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

四二

第四三　政治及社會

○ロマノフ家祝典献金（三月一日付「ノーヴォエ・ヴレーミヤ」）

彼得堡及モスクワ銀行ニ露国皇室ロマノフ家三百ヶ年祝典ニ関シ総裁事業費トシテ皇室ニ一百万留ノ献納ニタリ

○外務及宮務陸長官ノ名誉職（三月四日付「デーニ」）

ロマノフ家三百ヶ年祝典ノ機ト外務大臣サゾノフ及宮務陸長官サフロン両氏ハ「ステート、セクレテール」ノ名誉職ノ授与ヲウケタリ

○在米露公使帰京（三月五日付「ノーヴォエ・ヴレーミヤ」）

テヘラン駐在露西亜公使ホルシウスキーマーヤン氏ハ三月四日彼得堡ニ帰京シタリ

○後里統監境界巡査（三月二十五日付「リー」）

在露国日本大使館

REEL No. 1-1155

0280

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

後星「護衛」軍参謀長「マルツイノフ」中将ノ子(三十五歩兵師團長ニ任セラレ「ポ」ツイノフ中将ノ後任トナル)

○山内大尉罷免(三月六日「ソーウエー」)

宮内大尉「ブレデリクス」罷免ノ件書ノ罷免ノ件

○在庫倫露國領事交代(三月十三日「ーチ」)

在庫倫露國總領事「リューバ」氏ノ後任ニ露國ノ希望シ「ミュンヒ」氏ニシカ後任トナラン(「ミュンヒ」氏ハ彼得堡大学出方ニテ伯利亞出身ニシテ久シク「ハ」斯ー在勤シ「ハ」斯ー在勤ノ経験アリ)

○武官ノ高等事務官(三月七日「ーチ」)

「セミョーノフ」近衛隊附將校「ルネンベルク」氏ニ上海露國高等事務官ニ任セラル現役將校カ高等

事務官ニ任セラレタルコトハ今回ノ以ノ場合ニ矢ト(法律命令ニ)ナシ

高工學ニ於ケル「ハ」斯ー(「ーウエー」)

○在庫倫露領事任免(三月十八日「ーウエー」)

在「ハ」ウリ「ス」露國總領事「ミュンヒ」氏ノ在庫倫露領事ニ任セラル

REEL No. 1-1155

0281

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

第四　外交

○英露ノ対波斯和交（三月四日「ロイター」）

英露両国ハ波斯ニ於テ各其自己ノ勢力範囲ニ於テハ秩序ニ対シ監督ヲナスコトニ関シ波斯政府ニ提議シタル波斯ハ此提議ヲ拒絶シタルヲ以テ両国ハ波斯分債ノ募集ヲ止メタルコトヲ承認シタリト称ス

○露国ノ動静解散（三月十二日「ロイター」）

露国政府ハ分散ヲ以テ擅命国カ「ガリチヤ」地方ニ在ル自国軍隊ノ人員ヲ平時定員ニ復シタルヲ以テ露西亜ニ対シ昨秋除隊トナシタルモノニテ除隊ヲ妨止メタル除隊兵ヲ解散スル命令ニ基キ公ニ「ウォニ」ハ「ロシヤ」ニ

○通商条約問題（「ロイター」）

REEL No. 1-1155
0282
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

高工大臣ヲアセフ氏ニ雪西通商条約内題ニ付
シ内閣ニ接係スル所アリ
○黒龍江条約支那船業ニ就テ（三月十四日）
内閣ニ於テ近々黒龍江ニ於テ支那人
ノ船業ヲ営ムニ就テ諸氏所アリ
シ一八四七年露国軍艦ノ下田ニ
黒龍島蘇里西江ニ於テ
ノ有スト口実ヲ設ケ方西江ノ横利
ヲシテ露国人ノ雪西人ノ
使ヲ以テ雪西人ノ
雪西ノ威信著シク失墜スル
ノ為蘇里西江ニ於テ自己ノ横利ヲ多ク九ル

六七年ヨリ清国ニ於テ西江ニ沿船ノ保ツ所ノ黒龍
諸地方ニ雪国ニ於テ西江ニ清国沿船ノ航行セシムル
ヲ、極力反対シタリ而シテ其理由トシテ清国人ヲ愛
理条約ノ有ル右西江航行権ノ有ルヲ知シ清国
人ニ其航行ヲ許スニ於テハ日本人又ハ雪西人ノ清西人
ノ為ニ乗ノ下ニ自己ノ沿船ノ西江ニ航行スルヲ以テ
保セス左シ支那船船ノ西江ニ航行セシムコトハ政
治上危険ニシテ経済上ニモ有害ナリトスル
アリ

REEL No. 1-1155
0283
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

四五丈

第五　第五　第五　第五　第五　第五　第五　第五

○剛麻栽培ニ関スル件

二月二十四日内務省技師ヲ派遣シ剛麻栽培ニ関スル調査ヲ為サシメタリ

二月二十四日内務省技師ヲ派遣シ剛麻栽培ニ関スル調査ヲ為サシメタリ

南洋庁ニ於テハ剛麻栽培ニ関スル調査ヲ為サシメタリ

ノ為メ内務省メンキン氏ヲ派遣シ詳細ノ調査ヲ為サシメタリ

サイパン会議ニ引続キ南洋庁ニ於テハ剛麻栽培ニ関スル調査ヲ為サシメタリ

麻栽培ニ関シ、ドンチビ、イチテに出張ス

在露國日本大使館